

<研究名称>

院内外の医学教育や講演における病理検体の二次利用

<実施責任者及び実施担当者>

所 属 病理診断科

職 名 副部長

氏 名 菊地智樹

<研究期間>

医学研究では無い為、期間を設けない。

承認後、使用する予定である。

<診療・研究の目的>

当院病理診断科医師として、院内外での医学教育や、講演を行う機会がある。そのため病理組織写真の提示や、その疾患の患者情報などを、匿名性を担保しながら提示せねばならない。

本申請は病理診断科で保存している患者検体を再利用し、最新の医学知識の普及を目指すことを目的とする。

<実施内容（方法）>

1. 院内での標本作製:

a. 当院での標本作製: 病理で保管しているスライドガラスは、経年変化で褪色するため、再利用できない事が多い。そのため保管しているパラフィンブロックから標本を再作製する。HE染色、特殊染色、免疫染色などを行う。

b. 他施設への染色依頼: 医学教育や講演は最新情報を提供する必要がある。そのため、当院で保有していない特殊な抗体を使用した免疫染色なども提示しなければならない。病理で保管しているパラフィンブロックから未染スライドを作製し外部施設に染色を依頼する。

<危険性（副作用）等>

病理部で保管している既存試料を用いるため、対象となる個人およびその家族等の関係者に危険性は無く、不利益になる事はない。

<倫理上問題になると考えられる事項>

既存の試料を用いるため、対象となる個人およびその家族等の関係者に危険性は無く、不

利益になる事はない。また、被験者の個人情報については、必要に応じて年齢、性別、疾患名、検査データ、治療内容、予後の情報を使用する。外施設には個人情報は送られず、秘密は保持され、被験者の同意取得は必要でないとする。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 病理診断科 菊地 智樹

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648